

平成 27 年 9 月

お客様各位

青い森信用金庫

「認知症サポーター」養成への取り組みについて

青い森信用金庫では、認知症に対する理解を深め、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するため、全 714 名の職員が認知症サポーター養成講座を受講し、「認知症サポーター」となりました。

■認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の方やそのご家族を温かく見守る「応援者」のことです。

■認知症サポーター養成の目的

- ・ 役職員一人一人が認知症を正しく理解し、適切な対応を身につけ、金融サービスの向上を図る。
- ・ 地域の一員として、地域で暮らす認知症の方やそのご家族の方が、安心して利用できる金融機関を目指す。
- ・ 地域の行政や専門機関等との関係性を強め、連携した取組みを推進する。

■「オレンジリング」の着用について

認知症サポーター養成講座の受講者には、認知症サポーターの証として、「オレンジリング」が配布されます。

当金庫では、職員がオレンジリングを着用しお客様対応をさせていただきます。また、店内にステッカー等を掲示することにより、認知症ならびに認知症サポーターについての認知度向上に協力してまいります。

